

# 伝言板

日曜日夜間の小児科救急医療輪番病院の  
問い合わせは埼玉県救急医療情報センターへ  
3月から、所沢地区(所沢市・狭山市・入間市)の小児科  
救急医療輪番病院は、日曜日の夜間を担当する病院が  
不在となります。担当病院が決定するまでは、埼玉県救  
急医療情報センター(☎048 824 4199)で受診可能な  
医療機関をご案内しますのでお問い合わせください。  
なお、日曜日の夜間以外の輪番体制は、時間帯を含め従  
来どおり輪番病院が担当します。  
問い合わせ健康推進課へ☎956 8050

毎月2日は  
ノーレジ袋デー



## 防災一口メモ

一人の力では限界が...地域との連携が大切  
災害や事故が発生し119番通報をすると、消防署  
員や救急隊員が現場へ駆け付けます。特に救急車  
は、生活と密着したところで頻繁に出動しています。  
しかし、大地震による大規模災害の場合はどう  
でしょうか。家屋、ビルの倒壊などによって道路が  
寸断されるなどの被害が多発すれば緊急車両も駆け  
られなくなります。そして、次々に通報される被害  
状況に的確に対応しようとしても、消防や防災関係機関  
の出動だけでは手が足りなくなることが考えられます。  
交通の阻害、通報困難、同時多発火災など、最悪  
の事態ともなれば市民皆さんの活動が唯一のもの  
となります。この場合、一人ひとりがバラバラに活  
動しては、十分な効果は期待できません。自主  
防災組織など地域の方々との連携こそが、被害を  
最小限に押さえることにつながります。大規模災  
害では、あなたの力が必要です。  
問い合わせ交通防災課へ内線3695

### 消防本部からの報告

1月の火災件数3件(建物3件、車両0件、その他の火災0  
件) 救急出動件数491件 搬送人員478人

### 人口と世帯 2月1日現在。(内は前月比)

	住民基本台帳人口	外国人登録人口
男	81,741人(-129人)	796人(+5人)
女	78,627人(-32人)	930人(-16人)
合計	160,368人(-161人)	1,726人(-11人)
世帯	60,785世帯(-82世帯)	1,356世帯(-10世帯)

### 住民基本台帳法に基づく年齢別人口

14歳以下	21,498人(13.41%)
15歳~64歳	116,418人(72.59%)
65歳以上	22,452人(14.00%)

## 3月 狭山ケーブルテレビ

☎0120-340-379 ☎956-5630  
e-mail: ch9@staff.s-cat.ne.jp  
http://www.s-cat.ne.jp

みんな茶やま▶狭山市ホットインフォメーション(市役所からのお知らせ、字幕付)▶自治会の時間▶すこやか体操▶は~いお手紙です  
ちゃっぴいアワー▶ニュース▶ウイークリーニュース▶サポートねっと  
(WAVE・商工会議所からのお知らせ、発酵の講座、狭山市事業所防犯協議  
会、統一地方選挙情報ほか)▶カレッジステーション(新入学を控えて、my  
dear college、新年度をむかえてほか)▶地域経営者▶特集(彩の国「地鶏工  
房鳥正」芥川賞受賞作家大道珠貴さんに聴く、計画換気住宅、健康ボウリン  
グほか)▶いろいろばたの昔ばなし「狭山のキヨカワハチロウ」  
ちゃっぴい撮影隊▶「ケーブルテレビ衛星機構番組コンクール応募作品」  
を再放送します▶「ドリームフェスタ2002 総集編(4日~10日)▶講演会・新  
たな時代に於ける狭山市企業の経営(立地)環境(18日~24日)▶講演・狂言  
のこころ(25日~31日)  
野村の自由学校▶「奈良・油煙墨(松壽堂代表・森克容氏)

4月中旬・下旬に行われる県議選、市議選。ちゃっぴい9では開票速報はも  
ちろん、ホットな情報を随時お届けします。

お・茶・香・る・ま・ち

SAYAMA  
CITY  
さやま

狭山市広報・お知らせ版 VOL.380  
発行日/平成15年2月25日(毎月10・25日発行)  
発行/狭山市 編集/狭山市総合政策部広報課  
〒350 1380 埼玉県狭山市入間川1 23 5  
☎042 953 1111(内線7162) ☎042 954 6262  
テレホンガイドさやま☎0120 460 380  
ホームページ http://www.city.sayama.saitama.jp/

## 編集後記

広報さやま1月10日号の裏表紙「富士の見える地  
名」を読んだ方から、こんなお手紙をいただきました。  
平成2年2月10日号掲載の「狭山から見える山々  
(絵図：藤本一美氏作)」を見て、散歩のたびに広瀬橋  
から眺めていた、奥武蔵秩父、奥多摩、高尾陣馬、大菩  
薩連嶺の五地域にわたる登山計画を立てました。そして、位置を確認して登山、山々の  
見取り図に登山済みのマークを付けていく...2年余りで60の嶺を登り終え、充実感溢れ  
る思いが、学生時代に所属していた山岳サークルの記念誌のコピーとともにしたため  
られていました。結びごころ「こうして何年もたっても、市民の誰かに活用されている『何  
か』があることをお伝えし、また楽しい企画を期待しています。」と記されていました。  
当時の広報担当として、また現在の担当として大きな喜びとともに、編集への情熱を駆  
り立てられました。お便り、ありがとうございました。 (※)